



学校教育目標 **賢く 直く 逞しく**

学校ホームページURL <https://kanuma-school.ed.jp/e-satuki>

鹿沼市立さつきが丘小学校
〒322-0026
鹿沼茂呂1086-5
電話 65-0919
発行者 学校長

令和4年度 鹿沼市立さつきが丘小学校 学校評価のまとめ

1 今年度の重点的な取り組みについて

本校の教育目標「賢く、直く、逞しく」及び学校経営重点化構想について、1学期末に教職員による中間評価を行い、2学期以降重点的に取り組んでいる項目です。

	重点目標及び目指す児童の姿	具体的な取組
賢く (知)	目標 聴き合い、認め合いを大切にしながら学びを深める授業づくり 児童 学校生活全般で育んだ関係が授業に生かされ、自分も友達も大切にしながら学び合える児童	自他の考えを大切にし、互いに認め合い、高め合いながら学びを深める授業づくり ・練り場面では、児童の考えのよさに触れながら、考えをつないでいくことを意識したり、どのような表現が分かりやすいのか児童の発言から考え価値づけするような言葉かけを行ったりする。 ・単元全体の見通しをもち他教科との関連を図りながら、表現の技能を身に付けさせる。
	目標 主体的に学習に取り組める児童の育成 児童 自分に合った目標を立て、主体的に学習に取り組める児童～特に家庭学習について～	家庭学習において自分に合った目標を立て、主体的に学習に取り組める児童の育成 ・授業との関連を図り、予習復習となるような宿題の出し方や授業で活かせる内容を課題とするなど提示の工夫をする。 ・少人数で授業が行える体制を整えることで、一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導が行えるようにするため、コース別学習を推進する。
直く (徳)	目標 児童一人一人の自己有用感の育成（相手のことを大切にすること） 児童 相手のことを大切にして支えたり、互いに助け合ったりしながら、よりよい生活ができるようになる児童	相手の気持ちを考えて行動する児童の育成 ・「笑顔であいさつ」の奨励を図る。また、友達に対する言葉遣いや場に応じた敬語などが、身につくように支援する。 ・各学年の重点学校行事では、自分なりのめあてやふり返り、児童自身が特にがんばったところを書き示すようにする。
	目標 児童一人一人の自尊感情の育成（自分を大切にすること） 児童 自分の努力や成果を振り返り、自己の理解を深めたり、振り返りを生かして、新たなめあてをもって生活しようとしていたりすることで自分の特性を知り、将来の夢をもち努力する児童	自分の努力や成長を肯定的にとらえられる児童の育成 ・人権資料「なかま」の活用を図る。特に、人権週間の前後に意識して取り組むようにしていく。 ・ソーシャルスキルトレーニングの実施を継続する。 ・「いいとっとこファイル」の活用を図る。
逞しく (体)	目標 基本的な生活習慣の育成 児童 お互いに気持ちよく、楽しい学校生活を送ることができる児童	集団生活における基本的な生活習慣を身に付け、自ら考え実行することができる。 ・「さつき小よい子の一日」について確認し、指導に当たる。代表委員会と連携し、朝の放送で注意喚起をする。 ・時間や期間をきちんと設定し、自己評価を行う。 ・ソーシャルスキルトレーニングやロールプレイ等の実施の仕方について研修する機会を設定する。
	目標 安全指導の徹底と危機管理能力の育成 児童 自分や周りの人に関心をもち、自ら考えて行動できる児童	自分や周りの人の安全を考え、ルールを守って生活できる。 ・登下校時の指導の徹底、安全確保については保護者の協力を得られるように啓発していく。 ・感染症予防については継続指導を心掛け、安全に対する児童の意識が低くならないようにする。



- 1日(水) 避難訓練(地震)
- 2日(木) 全校集会
- 8日(水) 中学校説明会(6年生)
- 10日(金) 卒業式予行
- 16日(木) お別れの式
卒業式準備
- 17日(金) 卒業式
- 20日(月) 学期末大掃除
- 22日(水) PTA監査
本部役員会
- 24日(金) 修了式
- 25日(土) 春休み
- 30日(木) 離任式
校内LEDライト工事～7日
- ※令和5年度 始業式 4月10日(月)
入学式 12日(水)

※おもな予定になります。変更になることもあります。

令和4年度 「保護者アンケート」「児童アンケート」「教職員評価」まとめ

※の①「よくあてはまる」、②「あてはまる」、③「あまりあてはまらない」、④「あてはまらない」

※字はすべて%表示（小数第一位以下は切り捨て） ※同質問項目（上1学期 下2学期）

質問項目		①	②	③	④	
学校生活全般	児童①学校生活は楽しいです。	66	28	5	2	
	保護者②教職員は保護者に対して相談しやすい雰囲気づくりに努め、連絡相談に対し速やかに対応している。	64	32	3	1	
	保護者⑤学校・学年便りや授業参観、学校ホームページなどを通して、学校の教育活動をわかりやすく伝えている。	40	53	6	1	
	保護者⑥お父さんは、学校に行くことを楽しみにしている。	22	66	11	1	
賢く	学びに向かう授業の実践	児童⑧授業で友だちの意見とよく聞いて考えたり、友だちの考えのよさに気づいたり出来ます。	46	46	7	1
		児童⑨授業で自分の考えや意見を友達や先生に言っています。	59	34	6	1
		保護者①学校は、すべての子どもが学びに向かえる授業の実践に努めている。	50	42	7	1
		教職員：自他の考えを大切にし、互いに認め合い、高め合いながら学びを深める授業づくり	41	30	21	8
		児童⑩家庭学習を毎日頑張っています。	36	35	23	6
	家庭学習	保護者①学校は、すべての子どもが学びに向かえる授業の実践に努めている。	23	70	7	0
		教職員：自他の考えを大切にし、互いに認め合い、高め合いながら学びを深める授業づくり	6	88	6	0
		児童⑩家庭学習を毎日頑張っています。	9	91	0	0
		保護者⑧お父さんは家庭学習（宿題・自主学習）に進んで取り組んでいる。	55	30	13	3
		教職員：家庭学習において自分に合った目標を立て、主体的に学習に取り組める児童の育成	49	33	14	4
直く	あいさつ・言葉遣い・自尊感情	児童②笑顔であいさつをしようとしています。	18	47	28	7
		児童⑤先生や友だち、大人に対する言葉遣いに気をつけています。	3	82	15	0
		児童⑥自分にはいいところがあります。	3	75	22	0
		保護者⑦お父さんは、家族や地域の人たちに進んで挨拶をしている。	51	35	10	4
		保護者⑩お父さんは、友達や大人に対して時と場に応じた言葉遣いをしている。	46	41	11	2
		保護者⑫お父さんは、自分のよさに気付いている。	52	32	13	4
		教職員：相手の気持ちを考えて行動する児童及び自分の努力や成長を肯定的にとらえられる児童の育成	50	41	9	1
	おもいや	児童③友だちを大切にしています。	50	31	13	6
		保護者⑩お父さんは、思いやりの心をもって、友達や周りの人に接している。	41	44	11	5
		児童③友だちを大切にしています。	17	48	35	0
	児童理解	児童⑪先生は困っているときに、よく話を聞いたり、話し合ったりしてくれます。	16	59	22	3
		児童⑫先生は学習やその他のことで頑張ったことを認めてくれます。	9	66	23	2
		児童⑬先生は、友達を傷つける言葉や行いをしたときにきちんと叱ってくれます。	6	91	3	0
		保護者③学校は、児童のよいところを認め、直すところをきちんと指導している。	3	94	3	0
児童③友だちを大切にしています。		72	24	3	1	
遅しく	登下校・感染症対策	児童⑦安全に気をつけて登下校しています。	78	20	1	1
		保護者⑩お父さんは、思いやりの心をもって、友達や周りの人に接している。	33	60	7	0
		児童⑪先生は困っているときに、よく話を聞いたり、話し合ったりしてくれます。	71	23	5	1
		児童⑫先生は学習やその他のことで頑張ったことを認めてくれます。	65	29	5	2
	朝	児童⑭感染症に気をつけて生活しています。	73	21	4	2
		保護者⑭お父さんは、感染症予防に気をつけて生活している	69	26	4	1
		教職員：児童が安全に登下校できるような取り組みを行った。また、感染症予防や健康維持について関心をもち、自ら考え行動することができた。	78	17	3	2
		児童④早寝早起きをして朝ご飯を食べてきます。	75	20	3	1

【まとめ】

学校生活全般：児童アンケートでは「学校生活が楽しい」と回答している割合はよい傾向であった。保護者アンケートにおいても同様な傾向が見られる。

○「賢く」の面：授業において友達との意見交換が活発に行う活動を取り入れ、互いのよさを感じ取れるような教師の声かけを継続したことが、児童のアンケートの結果から見取れる。家庭学習については、年3回の家庭学習強調週間や掲示物による啓発等を行った結果、8割以上の児童が意欲的に取り組めたと回答している。保護者アンケートや教職員評価においてとの相違が今後の課題である。

○「直く」の面：あいさつでは児童アンケートから「よくあてはまる」と回答した割合が他の項目よりも少なく、まだまだ十分と捉えている児童の割合が多いようである。保護者アンケートや教職員評価においても同様であった。今後も継続的にあいさつの大切さを指導していく。自尊感情では、概ねよい傾向であった。入学時からの「いいこととこファイル」の実践や人権週間での取組、児童会による「よりよい学校プロジェクト」による効果と思われる。

○「遅しく」の面：登下校については安全についての理解や認識を深めさせるために、引き続き一斉下校における地区ごとの指導や放送等による指導、登下校時に関わっていただいている関係の方々との協力を得ながら改善に努めていきたい。感染症対策については、感染症予防に努める意識は高い傾向であった。早寝・早起き、朝食に関する項目は、全体的にはよい傾向であるが、一定の割合の児童が朝食を食べずに登校している様子も見られるため、今後も家庭との連携を大切にしていきたい。